

平成27年度第1回景観審議会デザイン協議部会 会議要旨

1. 審議会（部会）の日時、場所、出席者、議事

(1) 開催日時 平成27年（2015年）4月10日（金） 午後2時00分～同4時30分

(2) 開催場所 宝塚市立男女共同参画センター 学習交流室4

(3) 出席者

・景観審議会デザイン協議部会委員

徳尾野部会長、岩井委員、中嶋委員、赤澤委員、三谷委員、
林委員、秀平委員

・事務局（都市整備部 都市整備室 都市計画課）

井ノ上部長、山下室長、下野課長、阪本係長、谷口係長、濱崎職員

・事業者

議事① 事業者 TOA株式会社（2名）

設計者（建築） 三菱地所設計株式会社（5名）

設計者（外構） プレイスメディア（1名）

議事② 設計者 遼プランテック（1名）

(4) 議 事

議事① （仮称）TOA宝塚事業場再開発計画

議事② （仮称）宝塚市中筋8丁目店舗新築工事

(5) 傍聴者

議事① 1人

議事② 1人

2. 会議の要旨

事務局：本日の審議会（部会）は、委員7名の出席がありましたので、宝塚市景観審議会規則第6条第2項の規定により成立する旨を報告します。

会 長：了解しました。審議を開始します。本日の署名委員は順番により、中嶋委員と赤澤委員です。

☆☆☆★ （仮称）TOA宝塚事業場再開発計画 ★☆☆☆☆

会 長：開発事業の概要について説明を求めます。

事業者：事業者概要について説明します。

- ・ 1934年設立の音響機器、放送機器、セキュリティー機器の製造販売を行っているメーカーです。50年ほど前に宝塚のこの地で事業を始めました。
- ・ 今回は、50年近くになる建物が2棟残っており、老朽化に伴う建て直し、また、開かれた事業場を作って行きます。地域やお客様に見ていただくための新しい開発拠点を作って行きたいと考えております。

設計者：今回の事業について説明します。

- ・ 計画においては、TOA 事業者自身の配慮だけではなく、周辺と調和のとれた配棟計画や色彩の計画、外構ランドスケープの計画を基本的に行っています。
- ・ 地域は住宅だけでなく、企業事業所が混在している地域と理解しています。
- ・ 現況は大きく4棟の建物から成り立っており、他に小さな建物もあります。
- ・ 今回2号館の老朽化に伴い、事業者の開発部局を集約します。
- ・ 建物の再構築に伴って、ランドスケープの見直しを行います。既存の樹木の多くを伐採し、ランドスケープの構築もする考えです。
- ・ 建物は既存の1号館の南側に新棟、既存音響センターの南側に文書保管庫を新築し、文書保管庫は新棟が建った後に、追加として建てていく計画です。
- ・ 建物配置等の土地利用計画については、来客動線の大きな変更は考えておらず、先ず、1号館に来客を集約したうえで他の棟をご案内します。
- ・ 周辺地域の皆様に対しては、東側の並木道をランドスケープして来客を導くように計画をしています。東側の道路からの景観にも配慮しています。
- ・ 従業員の数も多く、従業員の駐車場を確保することも大きな課題であるが、建物を北側に集約し、南側に平面駐車場を配置します。駐車場に対しても並木を延長し、道路側からの景観にも配慮しつつ、駐車区画の間には芝生を配置し、全てアスファルトではなく少し彩についても配慮しています。
- ・ 従業員の駐輪場は西側に配置し、北側の道路から入っていただきます。
- ・ 図面上の西側の緑化予定地については、確認申請上の敷地には含んでいませんが、事業者の所有地になっています。将来的にはランドスケープを造りこんで、周辺も含めた土地利用の方法を検討しているところです。
- ・ 建物の立面ですが東側からの景観に配慮して、東側には共同住宅がありません。建物の色彩は既存に合わせた薄いグレーに統一しながら、縦スリット窓を配置し最低限の室内の採光を確保し、周辺住宅へのプライバシーに配慮します。ただ、単調にすると無機質になるため、リズム感をつけます。
- ・ 敷地内通路には、建物の手前に高木を植樹し、配置に関しては境界から後

退しています。歩行者に対して圧迫感がなく、並木が歩道側にあり、景観が保てていると考えています。

- ボリューム計画については、必要面積がありますが、高さも既存に合わせ、長さも既存に比べ長大になってしまうということになると、異質な感じになってしまいますので、全体的なボリュームは既存に合わせて、必ず集約しなければならないものはありますが、物置的に外に出せるものは文書保管庫に収めたいと考えています。
- 意匠的にも新棟にあわせて窓面を抑えています。
- 音響センターは鉄筋コンクリート造の古い建物で、同じようなデザインとしてアルミパネルで化粧直しを行い、意匠の統一感を行う考えとしています。
- 特に新棟の西立面のデザインの考え方については、東側に共同住宅があり、高さを抑えています。西面については西側の緑化予定に対してや六甲山系の眺望を考え、東面ではなく西面に開口を集中させている建物計画としています。
- 新棟の西立面にはオレンジ色っぽい色が入っていますが、企業のコーポレートカラーがあり、これをランダムに配置することで賑わい演出という手法をとっています。かつ、どこの企業が入っているのか周辺の皆様にわかっていただきたいということもあり、コーポレートカラーをあしらっています。
- 中央の黒い部分については、ブラインドを前面に設置し、日差しやプライバシーに関して配慮できるものと考えています。
- 屋外広告物関係については、新棟の南側の右上に少しだけ TOA の企業サインがついています。サインはバックライト方式で文字の裏側に照明があり、控えめのサインとして計画しています。
- 緑の柔らかい領域感を出しながら周辺の街並みに調和するように。宝塚には川があり、山があり、緑が多いのですが、この地域場所はそれほど緑が多い場所ではありませんが、外部空間に緑を感じることができるかということで、東側に並木を設けました。TOA の玄関ファサードになりますので、少しフォーマルな形で並木を規則正しく配置しています。
- セキュリティーの関係でフェンスを設置しなければなりません。フェンスが目立たないように生垣で隠しながら緑化を行うことを心掛けました。
- 計画の並木はモミジバフと言いまして、秋に紅葉する並木です。北側については常緑樹を使っています。南側に街区公園が隣接しており、アラカシという常緑樹を単独で並べています。隣接する住宅地に対しては常緑樹のモチノキを配置しています。

- ・ 高木樹として5本のシンボルツリーを計画しています。北東側にシラカシ、1号館と新棟の間にカツラの株立、駐車場南角にはヤマザクラの株立、音響センターと新棟の間にはクスノキ、北西角にはシマトネリコを計画しています。
- ・ 並木に対して低木は、単色ではなくて多様性を考え、同じゾーンに常緑樹6種、落葉樹4種の低木を混植しています。季節によってそれぞれの花が咲きますので、それぞれの花が主役となって彩のポイントカラーになっていきます。花が咲いていないときでも、葉の色が微妙に違ってきますので、花がなくてもある程度楽しめる計画としています。
- ・ 駐車場については、駐車区画は透水性アスファルト舗装、通路部は密粒アスファルト舗装としています。
- ・ 新棟と1号館の周りについては、透水性のブロックや石舗装とし、エントランスとして配慮しています。
- ・ 北側の門扉は入り口にあたるので、低い門扉で圧迫感をなくすように計画しています。

会 長：先ず確認ですが、既存の建物の壁面のN8.5は、現状ですか、それとも新築された時の色ですか。

現状の既存棟に新棟を合わせると馴染んでいくと思いますが、既存棟の新築時の色に合わせると、2棟並んだ時に違和感があると思います。

設計者：現状に合わせてN8.5にしました。新築時とは違います。

会 長：もう一つの確認は、委員の方からお願いします。

委 員：西立面について、アクセントカラーにコーポレートカラーを入れられると先ほど説明があり、マンセル値を明記していただいています、これはコーポレートマークか何かを測色器で測ったものですか。

設計者：コーポレートカラーは色番が与えられており、それに従ってマンセル値に直した結果を数値にしています。

委 員：マンセル値が中途半端な数値となっていますが、問題は彩度の16です。彩度16というものは、理論的にはありますが、再現可能なものは彩度14までと言われています。塗料でも印刷インキでも、彩度16まで出ているものはおそらくないと思います。測色器で工学的に測ると、光線の当て方で何度かに一度、この様な数値が出る場合があります。他にも色相や明度も中途半端な数値になっているので測色器で測られたのかなと思いました。いずれにしてもこのマンセル値は、現実世界として手に入れようのない数値です。もう一つは、彩

度12以上は少し蛍光色が入った様に人間に見えますので、現物を見せていただきたいのです。数値だけでは、驚く数値なのでOKですとは言えません。是非、現物を見せていただいて皆様にお諮りいただきたいと思います。

景観デザイン的に言いますと、コーポレートカラーの色、マークの色をそのまま外壁に持って来られると、外壁としては基本的に厳しい色です。

設計者：コーポレートカラーを表現することについては、外壁になった時のバランスや実際に現物を見なければ協議できないという事ですか。

委員：現物を見て協議したいと思います。もう少し街並みに合わせて、やや落としていただくなど、協議したいと思います。

設計者：西立面の考え方については、空き地があり緑化する予定があり、その部分も含めて計画しています。

委員：趣旨はわかりました。緑化もあり、目の前ではないということもわかりました。お気持ちはわかりますが、現物を見なければ返答のしようがありません。

外壁の他の部分ですが、金属断熱サンドイッチパネルで、N8.5ということですが、これは素材色でしょうか。

設計者：塗装です。

委員：金属に焼き付けですか。

設計者：焼き付け塗装です。

委員：艶はありますか。

設計者：選べます。三分艶、艶なし、半艶というものがあります。

委員：予定ではどの様な仕上げですか。

設計者：半艶の予定です。

会長：先ほどの既存のN8.5は、コンクリートに吹き付けなので、少し凹凸があり影が落ちたりするかと思いますが、建物の外壁は平滑で工場製品の焼き付け塗装です。マンセル値が同じでも、並んで見るとかなり印象が違い、やけに白っぽく見えるのではという気がします。コーポレートカラーの現物を見せていただけるのであれば、面積が大きいN8.5の金属断熱サンドイッチパネルも見せていただければと思います。

委員：色の塗料見本ではなくて、せめてA3版程度の大きさの物をお願いしたいと思います。

設計者：わかりました。

委員：A3版程度の大きさで面積効果がプラス、マイナスに働かない様をお願いしたいと思います。活けるものであればアクセントになるので良いと思いますので、現物で判断させていただきたいと思います。

設計者：協議もさせていただき、速やかに提示させていただきます。

委員：手間をお掛けしますが、お願いしたいと思います。

委員：メッシュフェンスの色は決めておられますか。かなりの面積を占めますので。

設計者：ダークブラウンです。

委員：既製品のダークブラウンですか。

設計者：メーカーはまだ特定していませんが、ダークブラウンまたはブラックを考えています。

会長：他はいかがでしょうか。

委員：金属塗装の面が住宅地側に大きな面として出てくる東立面のランドスケープが気になります。西立面にはアルミルーバーの様なファサードがあります。この様にアルミルーバーの様なもので影が入ってくると随分落ち着いたような感じになるものと思われま。西立面の様な工夫は難しいのでしょうか。

設計者：東立面については、その様な意味合いも含めて周辺とのバランスを見ながらスリットを入れています。

委員：素材感の影とかを含めて見せていただければ、とても分かり易いと思います。

設計者：陰影を出すことの議論については、スリット窓の本数及びバランスによってデザインを行っていますが、こちらが検討していた何パターンかをお見せするという事でしょうか。

委員：それとは意味が違います。素材感の問題で西立面にアルミパネルを使っていますね。

設計者：アルミルーバーです。

委員：アルミルーバーが入っていると、金属パネルに比べて、かなり優しい感じの立面になってくると思います。東側は、オフィスビル街ではなく住宅地の中ですので、できる限り素材感のある形で仕上げられる様な方法が良いのではないかと思ってお聴きしました。東面は平滑な金属パネルではなく、凹凸感のあるルーバー風の仕上げですかという質問です。

設計者：東面は、建物の平面的な使い方であるとか住宅地があるなどから、外装については、あまり窓を設けない様にしなければなりません。

委員：窓を大きくするという事ではなく、壁面の仕上げのことです。

設計者：色々なことを加味して、現時点では金属パネルでご提案しています。西側につきましても使い方も含め総合的に判断して一部アルミルーバーを使った仕上げとしていますが、やはり東面は壁としての使うことを事業者は希望されております。

委員：東面のパネル自体の表面に凹凸のあるものにならないかですかと。それとも極論すれば梨地みたいなものですかとお聴きしています。

設計者：基本的には平滑で、900程度の目地が入ります。

委員：900とは。

設計者：900mm幅のパネルの目地です。

委員：ますます縦が強調されますので、横のルーバーが優しく入っている方が優しい感じがします。幹線道路側が正面となっているのに壁でも良いというのは良いのでしょうか。

設計者：東面は、機能的、機能性から壁にする必要があります。

委員：壁で良いのですが、凹凸のない金属パネルをもう少し質感のあるパネルにできないでしょうか。

設計者：デザインを変えなければならないということですか。

委員：デザインと言えばデザインかも知れませんが、外壁のパネルが少し表情のあるテクスチャーで構成されていれば、景観的に空気が変わり、凄く優しくなってくると思いますので、もう少しテクスチャー感のある、表情のある素材を使えないかと思います。

設計者：先進的な技術を持った開発棟で音響メーカーという事もあって、デザインのコンセプトは粗密波を表した縦の線を強調したデザインとしています。

委員：平滑なパネルがこれだけあると、表情のある、陰影のあるパネルにしていたきたいです。

設計者：開発棟という住宅系ではない建物ですので、建物デザインの全体の印象と周辺性を鑑みて、建物配置もセットバックし、アイレベルでプロムナードを経るような配慮をしています。

委員：どの程度の凹凸感がありますか。

設計者：400mm位下がっています。

委員：影ができる程の凹凸がありますか。

設計者：かなり陰影が出ると思います。事業者からは建物の使い方とデザインの要望も高いので、よくある縦窓状のものではなく、抱きも深く取り、縦の溝を入れて全体で陰影を造る手法としています。

委員：次回、コーポレートカラーの現物を持って来ていただく時は、コーポレートマークも一緒に付けて来ていただけますか。パンフレット等少し良い紙で、色がきれいで出ているものでお願いいたします。

設計者：承知しました。

会長：抱きの部分はどの様な納まりになりますか。

設計者：アルミのパネルと、アルミサッシになります。

委員：サッシの色はどの様になりますか。

設計者：サッシはチャコールグレーです。

委員：溝をきれいに表現する為にチャコールグレーを予定しています。サッシをシルバー等にしてしまうと横桟が入ったりしてスリットらしくなりません。

委員：面落ちした部分は、もっと落とした色の方が、陰影が付くのではないのでしょうか。

設計者：抱きはそもそも影になりやすいので、色の変化で遠近感が狂うより同色の方が良いかと思えます。

委員：外壁パネルの取り付け位置と窓の取り付け位置に微妙なズレがありますが、全体で見ると分からなくなってくるという事ですか。

設計者：そうです。窓サッシの溝の関係がきれいに見えてきますサッシとパネルの目を無理矢理合わせなくても良いと思っています。また、抱きが深いので揃えても揃っているように見えません。

会長：次に建物のボリュームについてはいかがでしょうか。短手の断面図がないので分かり辛いのですが、西側の立面にはバルコニーが付いているのでしょうか。

設計者：175mmから200mm程度の壁柱と庇で構成しています。庇の出は400mm程度ですので、外へ出られる形状にはなっていません。西側に開口を設けた時、最近環境性能も問われますので、庇や袖壁パネルで遮熱性能を上げています。また、この様なボリュームの建物はいかに圧迫感を見せない様に造形を造っていくかも考えますので、西側についてはマリオンで区切っています。また、西側手前に緑化を予定しており、その先に六甲山というロケーションがありますので、建物からの見え方をそちらの方を大事にしたいと考えています。

会長：質問させていただいたことも含めて、正面の凹凸感が分からなかったことは提示していただいた資料の情報が不足しているかと思えます。短手の断面があれば、両側のファサードの凹凸感が図面で分かったと思えます。可能であれば、新棟と並んだ外観パースで裏側と表側からどの様に見えるかを示していただくと、質問する前に大凡の把握できたのではと思います。次に機会があればお願いしたいと思います。

委員：現況写真をご覧いただきたいのですが、手前に低層があつて、奥に高層の建物が並んでいます。この様な住宅地の中でも一生懸命がんばっている感じがします。増築棟は既存棟と同じ高さになり、手前に2棟の小さな建物が入った時に、街並みや風景に中でどの様な感じで街とすり合わさっているか、パース等手で見れるととても分かりやすいと思います。全体的にランドスケープに力を入れておられるように思います。特に、角に大きなシラカシの木が立っているのは、効果があると思います。エレベーションで見ても、3階位の感じで見えてくると非常に優しい感じになり、シラカシの株立は効果があると思います。

そこも含めて街並みとのすり合わせという意味でパース等で見せていただくと、東側のファサードはとても分かりやすいです。

会 長：緑についてはいかがでしょうか。

委 員：緑は十分にあると思いますが、気になる点が3つあります。外からの見え方について、東側に道路があり、並木が続いている所に門扉があり、その少し北側の所に道路がきます。街からの見え方が大事かと思imasuので、できれば並木にアクセントがあれば良いと思います。もう一点は、駐車場が芝生だけという点です。周辺から見た時に立体感が出た方が良いかと思imasu。例えば、駐車場の真ん中の列を3分割するぐらいの所に2本程度のシマトネリコを植えるなどすると、東側の道路から見た時に並木の落葉樹と常緑が混じり、あまりわざとらしくなく、造り込まずに立体感が出て、街からの見え方に少しボリュームが出て良いと思imasu。あと、感じたことですが、シラカシが北の角に植えられており、中程にはカツラが植えられています。

南から北へ進むと六甲山が見えて非常にきれいに見えます。道路の左側にT O Aがあり、その先に六甲山が見えます。それをシラカシが邪魔をしないかが気になります。敷地の中では凄く恰好が良いですが、都市景観の観点で見ると凄く気になります。どちらかと言えばカツラとシラカシを入れ替えて、北東角には、冬場は落葉して横にボリュームがでないカツラにすると、山への眺望が邪魔をせずに存在感があり都市景観的には良いのではと思imasu。3つ目は、タブノキは瀬戸内の乾燥気候には弱いので自然には生育しません。パイプを通して水をあげなければなりません、それは大丈夫でしょうか。ご検討いただければと思imasu。

委 員：東側に並木を造っていただいて、かつ、フェンスの外側に緑を出していただくことは非常に良いことだと思imasuが、かなり長く単調に続くのでそれなりのボリュームがあります。できれば、所々に、特にコーナーの所に大きな高木を植えられていますので、もう少し違うボリュームでリズム感を付けるような形で街の外にも高木の緑を出していただく様なことはできないでしょうか。

企業の研究所等に行くことが多いのですが、どの企業もかなりの緑を用意されています。街の方も共有できるよう高木の配置について、コーナーと途中にリズム感ができる様にならないかと思imasu。

設計者：委員がおっしゃることも良くわかりますが、東側はフォーマルな連続の中で並木を構成しています。その単調さを補う為、足元に10種類の低木を混ぜ、季節ごとにその低木の花が咲いて変化ができます。上の方のリズム感是一定ですが、目線では低木による植栽のリズム感が出る様に計画をしています。全体

としてはガッチリ造りますが、人の目に一番入るところの植栽につきましては多様性とリズム感を出しています。

委員：同じものが長く並んでいるときには、前の植栽は多様にしてリズム感を出した方が良いですし、今回の場合はトーンによって縦横も変えられた方が良いと思います。工夫されていますので、ベースは揃えられてバランスを見ると美しいということもありますので、建築とランドスケープの協議の中で調整して下さい。

委員：植栽計画については非常に良いと思いますが、もう少し街に開かれた部分があっても良いのではないのでしょうか。街に開くという意味でコーナーの所の角を取る様な形で街に開いていただくことができないかと思います。

会長：ランドスケープとの繋がりになりますが、西側の緑化予定は、先の予定の様になりますか。

設計者：今検討しているプランを提示させていただきます。

プラン建物の西側になります。東側が会社の顔となるフォーマルな植栽としています。西側につきましては周辺地域に開放された広場と緑の山を計画しています。事業者は音響メーカーという事で、例えば、「彩りの森」という所には少し窪んだ所を造り、そこには水琴窟というような形で自然の音を出す様な細工をしたり、「香の丘」という所には、歩いていて香しい香りがする草花を植栽します。また、在来の木を植樹し、「彩りの森」という事を考えています。北側の広場につきましては多目的で色々な運動ができる様な広場という対照的な構成にしています。また、ジョギングができるスペースとして外周を周れる様なスペースも設けています。

会長：これは社員の方だけが利用する施設ですか。

事業者：どの様に運用するかはわかりませんが、北側はコーポレートガーデンの予定です。土、日であれば地域の方からのご要望により、夏祭りに使っていただいたり、避難所に使っていただいたりと、我々のビジネスアワーで管理できる時間帯であればオープンにさせていただきたいと考えています。地域の方が憩の場としていただければ、社員と地域の方々が交わる場所になるのではと思っています。

会長：他にご意見等はありませんか。

委員：ありがたいお話で緑化のお話も聞かせていただきました。カツラやシマトネリコの優しい木を植えていただきますことと、今までにない、ある意味モデル的な緑化の捉え方をされていると思います。花が咲く低木も入れていただいています。元々この辺りは緑があまり多い所ではないので、ご近所の皆さんにも喜んでいただけるのではないかと思います。ただ今後、管理が大変だと思います。

事業者：研究棟ですので、緑があり、色々な発想ができ、斬新さとシャープな面、そして憩いの場を持ちたいと思います。地域の方や宝塚市の色々な方々と交われる所がやはり必要だと思っておりますので、庭は大事な部分だと思っています。

会長：それでは、先ほどの色やパースを含め、もう一度この場を持ちたいと思いますのでよろしく願いいたします。

以上で議題1は終了します。

☆☆☆☆ （仮称）宝塚市中筋8丁目店舗新築工事 ☆☆☆☆

会長：開発事業の概要について説明を求めます。

設計者：今回の事業について説明します。

- ・ 今回の計画はチェーン展開している店舗です。
- ・ 宝塚長尾線の幹線道路沿いのモスバーガーの隣の変形した土地です。
- ・ 今の現状は畑です。
- ・ 北側にはマンション、西側には住宅があり、東側にモスバーガーがあります。
- ・ 道路沿いには店舗が並んでいます。
- ・ 周辺の地形は概ね平坦です。
- ・ 敷地の西側に店舗を配置し、奥は全て駐車場です。
- ・ 宝塚市の緑地に関する条例があり、緑地をできるだけ住宅地側に配置しています。
- ・ 計画建物の周りには竹やモミジを植樹し、和風の建物を想定しています。
- ・ 駐車場と道路の両方からのアプローチができる様に建物の南東角にアプローチを設けています。
- ・ 建物の6割程度が客席となっており、全体的に木調のデザインとし、少し落ち着いた感じにしています。
- ・ お客様は若い方よりも30代以上の方が多く、女性の方も多いと思います。
- ・ 屋根については全体的に化粧が見える様にカラーベスト屋根とし、建物の裏手は簡素なルーフデッキとし、南東角は入口になりますので瓦を考えています。図面にアルミハニカム庇がありますが平葺きになります。
- ・ 資料には奈良の橿原市で建てた店舗の写真を掲載しています。計画の建物は写真に近いものになります。
- ・ 東立面図に明示している木格子が取止めになる見込みです。

会長：木格子がなくなるとガラスが直接見えるということですか。

設計者：外壁一部のジョリパット櫛引は、予算の都合で外壁と同じ色のリシン吹き付

け塗装となります。マンセル値では黄色に属するカラーで、和風の感じを造りたいと思っています。お客様には竹などの植栽を気に入っていただき、積極的に植栽しています。看板は面積的には少なめですが図面のとおりです。

ポールサインの面は、駐車場の配置を優先した為、柱芯からズレています。

委員：事例の写真では、3連の窓に白いフレームが付いています。今回の計画でも白いフレームを付けるのですか。

設計者：今はわかりません。フレームは残したい思っていますが、外構計画に懸念事項があり、外構に予算を使う可能性がありますので、その時は取止める方向です。

委員：白いフレームを取付けることに、こだわりはありますか。

設計者：アルミハニカム庇が平葺きになるので、窓の上と下に白い帯を入れることを考えています。白い帯を入れることで、統一感を出したいと思っています。

委員：窓の白いフレームは、無い方がきれいに見えます。図面の瓦の下に白い帯の部分があります。瓦の下の帯がかえって白く見え、窓の白いフレームが瓦の下の白い帯の邪魔をしていると思います。窓の白いフレームが無ければ、瓦と白い軒先がきれいに見えます。窓の上下に白い帯を入れるのであれば、窓の白いフレームは必要が無いのではと思います。瓦を葺くのであれば、瓦がきれいに際立った方が良くと思います。

委員：特に凸窓タイプは難しいです。事例の写真の3つの凸窓を指で押さえただけでもの凄く落ち着いた感じになります。

委員：現況写真では、計画地にたくさんのオタフクナンテンがあります。これを植栽することはできないでしょうか。オタフクナンテンは丈夫ですし、竹の下に植えるときれいと思います。

委員：オタフクナンテンは紅葉し、女性は好むと思います。

委員：計画の店舗は、建物が道路に近寄っており、隣地との取り合いの所は緑をしっかり植え込んで配慮しているのは、とても良いことだと思います。

気になることは、東側の道路と接して駐車場があります。道路際に駐車台数を減らさずに緑を植え込むと良いと思います。

会長：駐車場に数十センチの緑地帯を設けても良いのですか。

設計者：検討します。

委員：駐車場の形状について、車が周回できなければならないのですか。

設計者：お客様としては、周回できる方が良いです。

委員：周回を気にされているのは、何故でしょうか。

会長：駐車場に入っても満車で出なければならない場合があるからだと思います。

委員：車をバックさせなくても良いという事でしょうか。

委員：駐車場スペースが広く、車のタイヤが道路から見えていることは避けた方

が良いと思います。道路際を緑にされてはいかがですか。

設計者：できれば緑を配置したいと思います。

委員：今の計画は街並みとしてどの様に思われますか。

設計者：景観的に良くないと思います。

会長：店舗のデザインも和風邸宅をイメージしたデザインです。駐車場も生垣で囲まれていた方がイメージとして良く合います。

委員：高木を1本、生垣に入れるだけで見栄えは更に良くなると思います。

委員：建物の南側の西寄りに緑地帯があります。隣りは個人宅で水路もあります。建物の横は、ヒラドだけではなく、和風のクロマツを1本植えるだけで凄く恰好良くなると思います。竹でも相当恰好良くなっていますが、それとは別に高木を1本入れるだけで相当変わると思います。

設計者：クロマツの植栽を検討してみます。

委員：駐車場の配置については、道路側にも緑地帯が取れる様に全体を検討していただけますか。

会長：駐車場の周りの緑地は、ヒラドツツジですが、いかがでしょうか。

委員：相当しっかり密に植えて刈り込まなければ恰好良くはならないかと思えます。

設計者：その通りだと思います。

委員：色々な樹木を混ぜることが本当に良いのかはわかりませんが、ツバキなど葉の濃い色の樹木を混ぜるだけで違うと思います。花が咲く時期が少し違うとか葉の大きさが少し違うというだけで良いと思います。ツツジにしても色々なツツジがあります。それを混ぜるだけでもだいぶ表情が違ってくると思えます。

会長：他はよろしいでしょうか。

主に駐車場の配置と緑の種類と植え方の意見がありました。設計者だけでは判断ができないと思います。一度持ち帰られて事業者と協議をしていただき景観に寄与していただける様によりしくお願いいたします。

以上で議題2を終了し、本日の部会は終了します。